

レバノン文化教育センター

THE LEBANESE CULTURE & EDUCATION CENTER

設立目的

レバノン及び中近東を紹介し、文化、教育など多方面にわたって国際的知識の向上を図る。

会の特徴

レバノン人と日本人の国際結婚に絡む問題をはじめとする種々のカウンセリングに答えている。又、レバノンに関しての最新情報を提供している。

連絡先

〒659-0013
芦屋市岩園町22-33
TEL : (0797) 32-1319
代表者 会長 石黒 マリーローズ
連絡担当者 副会長 石黒 道兼
副会長 マドレン 梅若(03) 3585-7227

設立年月日

1983年3月

入会条件

目的に賛同する者

活動内容・時期

- 講演会、シンポジウム、ワークショップの開催
- 教育、文化等に関するコンサルティング
- カウンセリング

刊行物

家庭問題レポート「The Japanese Family and the Lebanese Family」(1984年 兵庫県発行)、「レバノンの黒い瞳ー日米を射る」、「父の心」、「フランス語はむずかしくない」、「レバノン杉と桜」、「キリスト教文化の常識」、「キリスト教英語の常識」現代新書講談社ベストセラー中

メッセージ

レバノン共和国は豊富な歴史的背景をもち、アルファベット文字の発祥地として知られています。残念ながら1993年まで17年間も内乱が続き、レバノン国民は一日も早い平和を待ち望んできました。幸運にも1993年より平和がおとずれ、日本でもレバノン観光ツアー等が数多く旅行会社に紹介されるようになりました。その中の数社がレバノン国の観光資料を求めてきております。又、個人的にも内乱による貧しい子供たちへの教育費、生活費の為の資金援助がなされております。「レバノン杉と桜」を読んで頂ければ、より広くレバノンについて知識を拡げることができます。「父の心、娘への手紙」を読んで頂ければ、娘を日本に嫁がせたやさしいレバノンの父親、真の心、レバノン人の国民性がもっと理解できます。
以上の事柄やそれ以上の情報、案内等をご希望の方は是非御一報下さい。